

問題 1 伝熱に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 外断熱の施された熱容量の大きな壁は、室温の著しい変動の抑制に有効である。
2. 壁体の含湿率が増加すると、壁体の熱伝導率は小さくなる。
3. 壁体の熱貫流抵抗は、熱伝達抵抗と熱伝導抵抗の和によって得られる。
4. 外皮平均熱貫流率は、建物の断熱性能、保温性能を表す数値として用いられる。

問題 2 照明又は採光に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 照度とは、受照面の単位面積当たりの入射光束をいう。
2. 昼光率とは、全天空照度に対する室内のある点の天空光による照度の比をいう。
3. グレアとは、高輝度な部分、極端な輝度対比や輝度分布などによって感じられるまぶしさをいう。
4. 光度とは、反射面を有する受照面の光の面積密度をいう。

問題 3 建築物に作用する荷重及び外力に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 劇場、映画館等の客席の積載荷重は、固定席の方が固定されていない場合より小さくすることができる。
2. 雪止めがない屋根の積雪荷重は、屋根勾配が60度を超える場合には0とすることができる。
3. 倉庫業を営む倉庫の床の積載荷重は、実況に応じて計算する場合、 $2,900\text{N/m}^2$ とすることができる。
4. 防風林などにより風を有効に遮ることができる場合は、風圧力の算定に用いる速度圧を低減することができる。

問題 4 直接基礎に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 建物に水平力が作用する場合は、基礎の滑動抵抗の検討を行う。
2. 基礎底面の面積が同じであっても、その形状が正方形と長方形とでは、地盤の許容応力度は異なる。
3. 基礎梁の剛性を大きくすることにより、基礎フーチングの沈下を平均化できる。
4. 圧密沈下の許容値は、独立基礎の方がべた基礎に比べて大きい。